

組織体系別一覧表

部等名	課等名	事務事業名
政策経営部	総合政策課	市政モニター設置事業
	総務課	行政事務連絡員設置事業
		地域コミュニティ協議会発足支援事業
市民福祉部	市民生活課	はり、きゅう施術料補助事業
		後期高齢者はり、きゅう施術料助成事業
	税務課	総合固定資産管理システム等航空写真更新負担金
	いきいき長寿課	敬老の日行事・長寿祝金支給事業（祝金）
		敬老バス乗車券交付事業
		一次予防対象者給食サービス事業
		高齢者紙おむつ支給事業
産業振興部	産業振興政策課	出水ツルマラソン大会実行委員会負担金
	シティーセールス課	中小企業振興資金融資事業
		中小企業振興資金等利子補給金
		中小企業振興資金等信用保証料補給金
	農政課	黄斑えそ病対策薬剤補助事業
教育委員会	読書推進課	中央図書館駐車場等環境整備事業
消防本部	消防総務課	救急救命士養成事業

※事務事業名をクリックすると、該当ページを表示します。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総合政策課	記入者名	松岡 秀和	内線	227
事務事業名	市政モニター設置事業		事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	住民と行政が協働するまちづくり					
	施策	住民参画の推進					
	細施策	公聴機能の充実					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市市政モニター設置要綱						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
	公聴業務費	01	02	01	02	003	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

よりよい市政を推進するため、地域における市政の浸透状況及び問題点の所在を常時把握収集し、併せて市民の声を市政に反映することを目的としている。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
市政モニター14人委嘱 モニター通信数 36件	市政モニター12人委嘱 モニター通信数 30件	—	—

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市政	市政モニター通信を通じて市政全般に対する提言、地域問題の実情の把握及び市政に対する相談照会等を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
地域における浸透状況や問題の把握、市民の声を反映させる。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本事業は、政策の反応を見るなど「市長への手紙」とは性質が異なると思われるため、本事業の活用方法について再度検討し、市政モニター数を増やすなど、幅広い意見集約に努めるべきである。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① モニター委嘱数	人	12	13	14	12				
	②									
成果指標	① モニター通信数	通	30	30	36	30				
	② うち提言件数（反映数）	件	3 (0)	2 (1)	18 (1)	8 (1)				

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由 モニターの数を増やせば通信数も提言件数も増えるが、連動してコストが増加する。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input type="checkbox"/> ある	
	理由 公聴の代替制度として「市長への手紙」（郵送）のほか、「ご意見箱」（メール）、「市政座談会」がある。モニター通信の内容を精査すると苦情及び要望がほとんどでその他の公聴制度との差異が感じられないため、モニター制度を他の公聴制度と統合しても支障がないものと判断される。	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ない	
	理由 コストは通信に係る郵送及びモニター謝金、通信処理人件費であり、謝金以外のコストは連動しているため、コスト削減は難しい。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	
効率性	<input type="checkbox"/> ある	
	理由 類似制度として市長への手紙制度がある。モニター通信のほとんどが問合せ、苦情及び要望であり、市政に対する提言や地域課題に関する通信は、ほとんど寄せられていないため、市長への手紙に統合して問題ない。	
効率性	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	
効率性	<input type="checkbox"/> ない	
	理由 類似制度として市長への手紙制度がある。モニター通信のほとんどが問合せ、苦情及び要望であり、市政に対する提言や地域課題に関する通信は、ほとんど寄せられていないため、市長への手紙に統合して問題ない。	
効率性	<input type="checkbox"/> はい	
	理由 本事業には該当しない。	
その他	<input type="checkbox"/> いいえ	
	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	制度あり 6市（枕崎市、西之表市、日置市、霧島市、出水市、薩摩川内市）※薩摩川内市は通信に対し回答しない。 制度なし 10市（指宿市、阿久根市、垂水市、曾於市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、南九州市、伊佐市、始良市） アンケートモニターのみ 3市（鹿児島市、鹿屋市、奄美市）	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	市政モニターの通信内容が「市長への手紙」と類似していることから、市長への手紙に統合して問題ないと考えられる。また、市民アンケートは必要に応じて随時実施していることから、市政モニター制度を利用する必要性は低い。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に統合とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に統合とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総務課コミュニティ推進室	記入者名	池田 幸弘	内線	203
事務事業名	行政事務連絡員設置事業		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	コミュニティ活動の充実					
	細施策	コミュニティ組織の支援・充実					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市事務の連絡等に関する規則						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
行政事務連絡関係費（報酬、費用弁償、使送便等）		01	02	01	02	002	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

市行政の円滑な推進を図るため自治会の代表者に市の事務の連絡員（行政事務連絡員という）を委嘱するもので、自治会内各戸への文書配布、各種調査、交通災害共済の取りまとめ等、市との連絡の事務を行う。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
【行政事務連絡員】 253人 ○報酬 57,502,800円 ○費用弁償 6,578,000円 ○永年勤続表彰記念品 119,988円 【文書使送経費】 ○貸金及び自動車賃借料 6,156,720円 ○消耗品その他 69,315円	【行政事務連絡員】 253人 ○報酬 57,492,000円 ○費用弁償 6,578,000円 ○永年勤続表彰記念品 165,000円 【文書使送経費】 ○貸金及び自動車賃借料 6,273,000円 ○消耗品 560,000円	【行政事務連絡員】 253人 ○報酬 57,492,000円 ○費用弁償 6,578,000円 ○永年勤続表彰記念品 165,000円 【文書使送経費】 ○貸金及び自動車賃借料 6,273,000円 ○消耗品 50,000円	【行政事務連絡員】 253人 ○報酬 57,492,000円 ○費用弁償 6,578,000円 ○永年勤続表彰記念品 165,000円 【文書使送経費】 ○貸金及び自動車賃借料 6,273,000円 ○消耗品 50,000円

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市民	市民（自治会加入者）への文書等の配布等市の事務の一部を行政事務連絡員に委嘱するもので、市から行政事務連絡員までの文書等の使送及び行政事務連絡員が配布する活動に対する報酬の支払及び市への連絡事務に往復する費用の支払等。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
行政事務の円滑な推進を図るために、行政事務連絡員に市政運営を協力していただく。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動 指標	① 行政事務連絡員数	人	253	253	253	253	253	253		
	② 各戸文書配布件数 (行政事務連絡員1人当たり)	回/年	24	24	24	24	24	24		
成果 指標	①									
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	平成28年度から郵便料金が値上げされたので、郵送コストアップの動向を注視したい。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)	
その他	他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
	○行政事務連絡員に委嘱：阿久根市、指宿市、西之表市、曾於市、伊佐市、いちき串木野市(未加入者含む)、始良市(広報紙のみ)、南さつま市(広報紙のみ)、南九州市(広報紙のみ)、日置市(広報紙のみ)。 ○自治会に委託：鹿屋市(広報紙のみ)、霧島市(広報紙のみ)、枕崎市(広報紙のみ)、垂水市(広報紙ほか)。○業者に委託：鹿児島市。	

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	行政事務連絡員による文書配布は、コミュニティの維持や運営面で有効な制度であるが、他市では広報紙系を除き文書を郵送するところが多いことから、将来的には、本市においても個人宛て文書の有無を把握し当該文書の郵送を検討して行く必要がある。

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総務課コミュニティ推進室	記入者名	池田 幸弘	内線	203
事務事業名	地域コミュニティ協議会発足支援事業		事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	コミュニティー活動の充実					
	細施策	コミュニティー組織の支援・充実					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市地区コミュニティ協議会育成支援事業補助金交付要綱						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目	
自治会活動費（地域コミュニティ支援事業）	01	02	01	10	13	01	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

自治会等地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との共生・協働のまちづくりの実現に資する。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
【市の直接払】 ○米ノ津東地区 1, 749, 142円 人件費（2人） 1,331,149円 費用弁償 17,600円 光熱水費、消耗品費等 259,127円 通信運搬費 141,266円	【補助金交付】 ○運営補助金（1地区） 米ノ津東地区3326世帯 1, 891, 100円 均等割 600,000円 世帯規模割332,600円 人件費 958,500円 ○設立準備補助金（1地区） 大川内地区 200,000円	【補助金交付】 ○運営補助金（2地区） ①米ノ津東地区 1, 891, 100円 ②大川内地区 1, 731, 000円 ○設立準備補助金（1地区） 200,000円	【補助金交付】 ○運営補助金（3地区） ①米ノ津東地区 1, 891, 100円 ②大川内地区 1, 731, 000円 ③未定 1, 807, 000円 ○設立準備補助金（1地区） 200,000円

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
地区コミュニティ協議会及び設立準備委員会	地区住民が自主性及び主体性に基づき地域の身近な課題解決に向けた取り組みを行う組織を立上げるための活動や組織立上げ後の運営に関し、予算の範囲内で補助金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
人口減少に伴い単独では活動が困難となっている自治会を、地区コミュニティ協議会の設置により補完することで自治会活動の持続が図られるほか、地区内活動等をマネジメントすることで地区活動の持続も図られる。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	推進ビジョン等の策定及び推進委員会等の第三者機関の設置など推進体制の整備・構築を急ぎ、出水市固有の地域コミュニティ協議会制度の創設を目指してほしい。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	①									
	②									
成果指標	① 地区コミュニティ協議会設置数	地区	—	1	1	1	2	3	33	10
	② 設立準備委員会設置数	地区	1	—	—	1	1	1	—	—

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由 地区コミュニティ協議会への補助金交付予定額は、平成27年度までの市の直接払額を基礎としている。補助金交付する事業は今年度が初施行となるため、事業内容等について随時点検する。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> あり	
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> あり	理由 共生・協働の社会づくりの実現のため、制度がスタートしたばかりである。
	<input type="checkbox"/> ない	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 将来、全域で設立された場合のコストは総額2千万円程度となる見込みであるが、自治会活動助成金の交付額との調整が必要である。
効率性	<input type="checkbox"/> あり	
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 なし。
	<input type="checkbox"/> あり	
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由 本事業は該当しない。
その他	<input type="checkbox"/> いいえ	
	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
薩摩川内市：（米ノ津東地区と同規模と仮定）世帯規模割648,600円、事務運営費1,024,000円、世帯割300円×世帯、コミュニティ主事を雇用した場合、人件費相当額を加算可能。鹿屋市：吾平地区300万円、高隈地区200万円。伊佐市：田中校区663世帯①運営補助金2,397,000円、育成事業補助金573,000円。始良市：均等割60万円、世帯割100円×世帯、賃借料加算、設立年度加算1.3～次年度1.6。		

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	推進体制及び地区コミュニティへの補助制度がスタートしたばかりであるため。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。 なお、市民全体へ周知が図れるような取組に努めること。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	市民生活課	記入者名	餅原 秀夫	内線	145		
事務事業名	はり、きゅう施術料補助事業		事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度					
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり							
	施策	医療保険と年金の充実							
	細施策	国民健康保険事業の充実							
根拠法令・条例、関連計画等		出水市国民健康保険はり、きゅう施術料の助成に関する規則							
予算細々目名				会計	款	項	目	細目	細々目
はり、きゅう施術料補助事業費				02	08	01	01	002	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

国民健康保険被保険者の健康保持増進を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
はり・きゅうの施術を受けた被保険者に対し補助金を交付する。 1 対象者 国民健康保険被保険者 2 補助金額 1回の施術につき 700円 3 補助の限度 1年度当たり 40回以内	同左	はり・きゅうの施術を受けた被保険者に対し補助金を交付する。 1 対象者 国民健康保険被保険者 2 補助金額 1回の施術につき 700円 3 補助の限度 1年度当たり 50回以内	同左

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
出水市国民健康保険被保険者	はり・きゅうの施術を受けた者に対し、補助金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
被保険者の健康保持増進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数や補助単価の見直しに加え、他の政策も含めた中で健康保持増進という総合的な観点からも検討を行うこと。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 利用人数	人	830	780	713	800	800	800		
	②									
成果指標	① 補助件数	件	11,673	11,410	10,622	11,000	11,960	11,960		
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	被保険者の疾病により利用されるものであるため。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	被保険者の健康保持増進が図れないばかりでなく、健康に関する関心が希薄になる懸念がある。また、補助回数や補助単価を増やしてほしいとの要望もあることから、廃止・休止は困難である。
	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
その他	<input type="checkbox"/> ある	補助単価を下げる事が挙げられるが、被保険者の健康保持増進が図れなくなる。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	無し
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	県内他市の実施状況と比較したとき、本市における1回の施術当たりの助成額は妥当であると考えられる。
	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
後期高齢者に対するはり・きゅう施術料補助事業と併せて、多くの市町村で実施されている。		

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	被保険者の更なる健康保持増進が図られるよう、現行40回の補助回数を50回に拡大していきたい。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数まで利用する者は少数であることから、回数の拡大ではなく、補助単価の増額など、より利用増進が図られる政策になるような検討を行うこと。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に改善して継続とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	市民生活課	記入者名	餅原 秀夫	内線	145
事務事業名	後期高齢者はり・きゅう施術料助成事業		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	健康づくり対策の充実					
	細施策	健康づくり支援のための体制整備					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市後期高齢者はり・きゅう施術料の助成に関する規則						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
後期高齢者はり・きゅう施術料助成事業費		01	03	02	01	050	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

後期高齢者医療被保険者の健康保持と福祉の増進を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
はり・きゅうの施術を受けた高齢者に対し、補助金を交付する。 1 対象者 本市に住所を有する後期高齢者医療被保険者 2 補助金額 1回の施術につき700円 3 補助の限度 1年度当たり40回以内	同左	はり・きゅうの施術を受けた高齢者に対し、補助金を交付する。 1 対象者 本市に住所を有する後期高齢者医療被保険者 2 補助金額 1回の施術につき700円 3 補助の限度 1年度当たり50回以内	同左

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
出水市後期高齢者医療被保険者	はり・きゅうの施術を受けた者に対し、補助金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
高齢者の健康保持と福祉の増進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数や補助単価の見直しに加え、他の政策も含めた中で健康保持増進という総合的な観点からも検討を行うこと。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 利用人数	人	658	711	672	700	700	700		
	②									
成果指標	① 補助件数	件	10,978	11,613	11,188	12,857	13,900	13,900		
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 被保険者の疾病により利用されるものであるため。
	<input type="checkbox"/> ある	
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由 高齢者の健康保持と福祉の増進が図れないばかりでなく、健康に関する関心が希薄になる懸念がある。また、補助回数や補助単価を増やしてほしいとの希望もあることから廃止・休止は困難である。
	<input type="checkbox"/> ない	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 補助単価を下げる事が挙げられるが、被保険者の健康保持増進が図れなくなる。
	<input type="checkbox"/> ある	
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 無し
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由 県内他市の実施状況と比較したとき、本市における1回の施術当たりの助成額は妥当であると考えられる。
	<input type="checkbox"/> いいえ	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	国民健康保険はり・きゅう施術料助成事業と併せて、多くの市町村で実施されている。	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	高齢者の更なる健康保持と福祉の増進が図られるよう、現行40回の補助回数を50回に拡大していきたい。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数まで利用する者は少数であることから、回数の拡大ではなく、補助単価の増額など、より利用増進が図られる政策になるような検討を行うこと。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に改善して継続とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	税務課	記入者名	柴田 敏文	内線	117
事務事業名	総合固定資産管理システム等航空写真更新負担金		事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行政財政運営を推進するまちづくり					
	施策	健全な財政運営の確保					
	細施策	財源の確保					
根拠法令・条例、関連計画等	地方税法、出水市税条例						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
	税務一般管理費	01	02	02	01	002	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

固定資産税の課税のためには、土地・家屋の毎年1月1日（賦課期日）時点における現況を把握し、それに基づき土地の課税地目、家屋の新增築・解体等により課税することになる。そのためには、現地調査が必要となるが、現在の人員では、全てを把握することは困難であり、期間的にも逼迫した状況であるため、航空写真での把握が、よりの確で有効な手段であり、公平・公正な課税につながる。

また、庁内他課においても、様々な事業で航空写真を活用できる。
 （現在、水道管路情報システム、農地地図情報システム、森林情報管理システム、農家台帳システム、都市計画区域見直しのための土地利用現況確認、その他で活用）

3 事務事業の概要

H29年度の事業計画	H30年度の事業計画	H31年度以降の事業計画
航空写真等更新負担金 ・鹿児島県土地改良事業団体連合会の【水土里ネット】による、複数市町村での航空写真共同撮影（オルソ画像共同更新事業）に参画し、その成果品受領後、鹿児島県土地改良事業団体連合会に負担金を支払う。	最新の航空写真を利用した評価替え	平成33年度評価替えに向けた航空写真等更新作業準備

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
出水市内に固定資産を所有する市民・法人	航空写真を利用して、土地の地目認定、家屋の新增築・解体状況を把握し、公平・公正な課税に努める。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
より正確な土地課税地目の把握と家屋の新增築・解体の把握により、公平・公正な課税を行う。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	二次評価と同様に実施とするが、航空写真の撮影枚数を慎重に検討し、コスト面については常に検証すること。 なお、航空写真での現地確認について、市民へ周知徹底し、市民からの自主的な申告を促す取り組みも必要である。

事務事業評価（事前評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	31年度目標	最終目標	
								年度	目標値
活動指標	① 航空写真撮影	%			100			29	100
	②								
成果指標	① 航空写真撮影からの把握件数	件	305	300	300	250	250	30	100
	② 公平・公正な課税	%	100			100		30	100

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 事務事業の目的

緊急性	いつまでに実施しなければならないのですか	
	平成 30 年度まで	理由 平成30年度が評価替えの基準年度（3年ごと）であるため、平成29年度中に実施。
妥当性	意図は妥当ですか（「4 事務事業の対象・手段・意図」欄の意図について）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由 公平・公正な課税を実施するためには、納税者に対し、より正確かつ納得のできる説明を行う必要がある。より最新の航空写真を利用することで、賦課期日における土地・家屋の現状を把握することが必至である。また、庁内他課でも様々な事業において活用している。
効率性	既存事業の拡大では対応できないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	理由 他課の既存事業で、航空写真を撮影する事業があれば拡大可能であるが、なければ対応できない。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	理由 本事業においては該当しない。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	県内の他市でも、概ね3年置きに実施している自治体が多い状況である。	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	前回撮影から3年が経過しており、現状と合致しない面が多く、土地・家屋の現状把握が困難なため、最新の航空写真が必要である。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	航空写真については、土地家屋調査のみならず、庁内の様々な事業に活用されており、必要不可欠な事業になってきている。今後においても、固定資産の評価替え基準年度である3年ごとに実施することとする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	二次評価と同様に実施とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	158
事務事業名	敬老の日行事・長寿祝金支給事業（祝金）		事業期間	平成 18 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	安心と安らぎある体制づくり					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市長寿祝金支給条例、出水市高齢者福祉計画・介護保険事業計画						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
敬老の日行事・長寿祝金支給事業費（祝金）		1	3	2	1	13	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

高齢者のこれまでの社会貢献に敬意を表し、長寿を祝福するための祝金を贈り、福祉の増進を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
90歳到達者 266人 7,980千円 95歳到達者 93人 4,650千円 100歳以上 53人 5,300千円 ※90歳30千円、95歳50千円、100歳以上100千円	90歳到達者 283人 8,490千円 95歳到達者 95人 4,750千円 100歳以上 58人 5,800千円	90歳 293人 8,790千円 95歳 97人 4,850千円 100歳 25人 2,500千円 101歳以上 43人 4,300千円 ※100歳以上100千円としていたものを100歳100千円、105歳200千円、110歳300千円とする。（これまでの最高齢者は107歳）ただし、平成28年度までの100歳到達者については従来のおり	90歳 305人 9,150千円 95歳 105人 5,250千円 100歳 19人 1,900千円 102歳以上 35人 3,500千円

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
当該年度に90歳若しくは95歳に到達する者並びに100歳以上の者	祝金を贈呈する。（90歳及び95歳の者には民生委員を通じ、100歳以上の者には市長訪問により交付）
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
長寿を祝い、これまでの社会貢献を称えることにより、高齢者全体の生きがいにつなげる。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	祝金の支給にこだわらず、出水市内共通商品券など記念品の交付へ変更するなど祝のあり方自体を再検討の上、継続してほしい。 なお、100歳以上の支給対象については現状が望ましい。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 祝金交付対象者数 (90歳、95歳)	人	327	356	359	378	390	410		
	② 祝金交付対象者数 (100歳以上)	人	43	49	53	58	68	54		
成果指標	①									
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	特定の年齢の者を対象としており、対象者を意図的に増減できない。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	これまで社会貢献してきた高齢者にとって、元気で長生きすることへの意欲の減退や、長寿社会であることへの市民の関心の低下につながるおそれがある。
	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
その他	<input checked="" type="checkbox"/> ある	対象年齢及び支給金額を見直すことにより、コスト削減は可能と考える。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業については、同事業費の敬老の日行事事業があるが、既に予算細目に統合されている。
市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)		
県内のほとんどの自治体で敬老祝金又は記念品を贈呈する事業が実施されている。		

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	100歳以上の支給対象を100歳、105歳、110歳の5歳ごとの節目年齢の者とし、支給金額についても年齢に応じたものに変更することとしたい。(平成29年度中に新たに100歳に到達する者から適用し、経過措置とする。)

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に改善して継続とするが、105歳及び110歳の支給金額については再度検討すること。

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続とする。 なお、105歳などの節目支給については、工夫を凝らしてほしい。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	158
事務事業名	敬老バス乗車券交付事業		事業期間	平成 3 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	安心と安らぎある体制づくり					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市敬老バス乗車券交付要綱						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
	敬老バス乗車券交付事業費	1	3	2	1	14	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

高齢者福祉の増進を図るため、出水市に住所を有する70歳以上の方に対して、敬老バス乗車券の交付を行う。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
交付件数 412件 助成金額 1,197千円	交付件数 520件 助成金額 1,550千円	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
70歳以上の高齢者	バス乗車券を1人当たり年間6,000円分を限度として、額面の2分の1で交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
交通弱者である高齢者に対し、バスによる移動支援を行うことで、福祉の増進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本事業は、市が利用実績を把握できない仕組みとなっており、事業効果の検証が困難である。市独自のバス乗車券を作成するなど利用実績が把握できるよう根本的な改善が必要である。 なお、将来的にはタクシー券交付事業への移行を検討してほしい。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 交付人数	人	506	531	412	520	520	520		
	②									
成果指標	①									
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	バス乗車券の交付については、以前から実施し普及していることから向上の余地はないが、今後はより利用しやすい移動手段と思われるタクシー券の交付等を事業化することができないか検討する余地があると考えます。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	高齢者の移動手段の削減につながるおそれがある。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	バス乗車券を交付している自治体は出水市だけであり、鹿児島市が実施している乗車パス方式を導入するためには対応する機器の整備に相当の経費がかかるとのこと。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか (市以外の取組含む)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。なお、出水警察署及び出水地区交通安全協会には、身体的理由により65歳以上の者が運転免許証を返納した場合、市内限定でタクシー料金が割引される制度がある。
市と受益者との負担割合は妥当ですか (受益者負担がある場合に記入してください)		
<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	乗車券額面の半額負担であり、妥当と考える。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか (県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
	鹿児島市(敬老パス)、薩摩川内市(高齢者おでかけ支援助成事業)、霧島市(いきいきチケット交付事業)等で実施されている。	

3 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	高齢者の移動手段の確保のために継続するが、その他の移動手段について方法がないかを今後検討していきたい。

4 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とするが、利用実態を調査・検証し、見直しできるものについては見直すこと。

5 今後の方向性、改善案等 (最終評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	利用実績が把握できるように事業の改善を行うこと。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	158		
事務事業名	一次予防対象者給食サービス事業		事業期間	平成	年度	～	平成	年度	
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり							
	施策	高齢者福祉の充実							
	細施策	安心と安らぎある体制づくり							
根拠法令・条例、関連計画等		出水市給食サービス事業実施要綱							
予算細々目名				会計	款	項	目	細目	細々目
一次予防対象者給食サービス事業費				6	4	2	5	7	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

在宅の虚弱な高齢者等の居宅に訪問し、食事の配食を行い、高齢者等の食生活を改善し、健康で自立した生活を営めるよう支援を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
利用者数 161人 配食数 34, 239食 委託料単価 417円/食	利用者数 160人 配食数 35, 531食 委託料単価 300円/食	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
在宅の虚弱な高齢者又は身体障害者手帳等を所持する者であって、調理等が困難なもの	・居宅に配食を行う。 ・配食の際に安否確認を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
・食生活の改善を図る。 ・安否確認において異常があれば、関係機関への連絡等必要な措置を講ずる。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続とするが、利用料金の軽減など更なるサービス向上を目指すために、利用可能な対象者数などの基礎データの管理・収集に努めること。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 実利用者数	人	161	159	161	160	162	164		
	②									
成果指標	① 延配食数	食	33,215	34,037	34,239	35,531	36,000	36,500		
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	申請に基づき要件に該当する方に所定のサービスを提供しているものであるが、広報周知を行うことにより、栄養改善や安否確認を必要とする利用者の掘り起こしが可能であると思われる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	利用者の食生活に支障が生じるとともに、定期的な安否確認の機会が減少する。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	平成30年度末までの単価契約（債務負担行為）を締結している状況にある。なお、平成28年度から民間委託により事業を実施しており、契約単価も引き下げられている。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	受益者負担は400円/食であり、食材費相当額として妥当と思われる。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	ほとんどの市町村で実施されている。 (近隣市町では、阿久根市、長島町、さつま町、薩摩川内市で実施している。)	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	食の提供と安否確認のための取組としてサービス需要が高い事業である。また、平成28年度から民間委託による事業を開始したところでもあることから、継続して事業を実施していきたい。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	158	
事務事業名	高齢者紙おむつ支給事業		事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度				
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり						
	施策	高齢者福祉の充実						
	細施策	安心と安らぎある体制づくり						
根拠法令・条例、関連計画等		出水市紙おむつ支給事業実施要綱						
予算細々目名			会計	款	項	目	細目	細々目
高齢者紙おむつ支給事業費			6	4	2	5	2	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

在宅の要介護者及び重度心身障害者等でおむつの使用を必要とする者に対し、紙おむつを支給して、介護している家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者等の在宅生活の継続及び福祉の向上を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
支給実人員 434人 支給延人員 3,565人 支給枚数 おおむね90枚以内/月	支給実人員 505人 支給延人員 4420人 支給枚数 おおむね90枚以内/月	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
<ul style="list-style-type: none"> 常時紙おむつを必要とする在宅の高齢者で次の要件を満たす者 介護保険法に基づく認定で要介護3、4又は5に認定された者 介護保険法に基づく認定で要介護2に認定され重度の認知症の者 身体障害者手帳2級程度以上又は療育手帳A2程度以上の者 疾病等により尿意が無い者 	高齢者のニーズに応じてパンツタイプ、フラットタイプ等の紙おむつを支給する。配布については、月1回、高齢者訪問員が行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
要介護者及び介護者の精神的、経済的負担を軽減することにより、要介護者及び介護者の生活の安定を図る。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 実利用者数	人	530	480	434	505	505	505		
	② 延利用者数	人	4,019	3,803	3,565	4,420	4,420	4,420		
成果指標	①									
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	理由 申請に基づき利用要件に該当する方に所定のサービスを提供しているものであり、また、現物についても利用者が望む紙おむつを検査し提供している状況にあるため。
有効性	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	理由 介護者の経済的負担が増え、適当な介護がなされないことにより虐待等につながるおそれがある。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	理由 紙おむつ購入費については、毎年入札により単価を決定している。また、支給数量については、要綱で定められている。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	理由 障害福祉で紙おむつに係る事業が実施されているが、当該事業は利用券方式であるため、統合は困難である。なお、障害福祉において現物給付から利用券交付式に変更する際、本事業でも利用者の意向調査等を行い検討したが、利用者から交通手段の確保が困難である等の意見があり従来のとおり継続して実施している。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	理由 本事業には該当しない。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	県内ほとんどの市で実施している。近隣では、阿久根市、伊佐市（購入費助成）、薩摩川内市（引換券）	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	購入費に対する助成、引換券等の交付についても検討しながら、継続して事業を実施していきたい。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続とするが、利用券方式や購入費助成など事業実施の形態について検討すること。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とするが、利用者の利便性が高まるような事業実施を心掛けること。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	産業振興政策課	記入者名	西村 陽一	内線	391		
事務事業名	出水ツルマラソン大会実行委員会負担金		事業期間	昭和 63 年度 ~ 平成 年度					
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を生かした多様な産業が躍進するまちづくり							
	施策	観光の振興							
	細施策	観光資源の活用							
根拠法令・条例、関連計画等									
予算細々目名				会計	款	項	目	細目	細々目
体育振興費（スポーツ交流促進事業）				01	10	07	03	001	2

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

- ・「ツルの里 出水」を市内外にアピールするため、マラソン大会を開催し、地域の活性化と出水のイメージアップを図る。
- ・マラソンを通じて、市民のスポーツに対する意識の高揚と、体力の維持・増進に寄与する。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
出水ツルマラソン大会 負担金 6,000,000円 平成27年10月18日開催 申込者数 3,105人 参加者数 2,763人	出水ツルマラソン大会 負担金 6,000,000円 平成28年10月23日開催予定 申込者数 約3,200人目標	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
ツルマラソン大会参加者	出水ツルマラソン大会実行委員会が主催し、出水市陸上競技協会が主管して、フルマラソン、3km、10kmの年齢別32種目の参加者を募集を行い、市民もボランティアでもてなす。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の一大イベントであるツルマラソンで全国に本市をPRするとともに、地域ボランティアやスタッフが一体となって歓迎することにより、大会を盛り上げる。 ・市民だけでなく県内外より参加者を増やし、人口交流の拡充を図る。 	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	交流人口の拡大に向けて、財源の確保により力を注ぎ、大会の充実を図ること。なお、将来的には事業運営主体を民間で実施できるよう検討していくこと。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 実行委員会開催回数	回	2	2	2	2	2	2		2
	② 地域ボランティア数	人	1,044	976	981	1,000	1,050	1,100		1,100
成果指標	① 大会申込者数	人	2,966	3,155	3,105	3,200	3,300	3,500		3,500
	② 市外申込者数 (うち県外申込者数)	人	2,438 (967)	2,632 (1,064)	2,584 (1,412)	2,700 (1,500)	2,800 (1,600)	3,000 (1,700)		3,000 (1,700)
	③ 大会参加者数	人	2,702	2,869	2,763	2,880	2,970	3,150		3,150

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	インターネット(ランネット)を活用し、県内外及び外国からの誘客数を増やす。
有効性	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	市の一大イベントであり、廃止した場合は旅館業組合や特産品協会等に与える影響は大きい。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	企業からの協賛金・広告料の増収は、景気の低迷で見込めず削減の余地はない。また、平成26年度より「北薩摩ふるさとづくり基金補助金」が廃止となったため。
効率性	類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	本市での類似のスポーツイベントがないため
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	参加料マラソン4,000円、10km・3km一般3,500円、中・高校生2,000円、小学生1,500円 総経費21,511,000円 負担金6,230,000円 参加料12,195,000円 広告料等1,210,000円 妥当である。サービス向上を図るためには、参加料の増額を検討する必要がある。
その他	他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
	天草マラソン大会(11/15開催)申込:4,105人 出走:3,671人 マラソン参加料:5,000円 いぶすき菜の花マラソン大会(1/10開催)申込:17,522人 出走:17,044人 マラソン参加料:5,000円 ひとよし春風マラソン大会(2/21開催)申込:6,237人 出走:5,863人 ハーフマラソン参加料:3,000円 鹿児島マラソン大会(3/6開催)申込:12,000人(抽選前:19,034人) 出走:11,854人 マラソン参加料:10,000円	

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	人口交流の拡充や地域の活性化を図るため、今後も継続して実施するが、参加者が増加すれば交通渋滞や駐車場の確保等、新たな課題への対策も必要である。 また、平成26年度より市負担金と参加料を見直したが、消費税10%への対応やサービス向上を図るためにも、参加料の見直しが必要と思われる。

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	西回り自動車道をはじめ高速交通基盤の整備が進んでおり、交流人口の拡充に特化した事業へと改善する時期にきているため、種目や参加料等の見直しを検討し、大会の充実を図ること。

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	ふるさと納税の活用、西回り自動車道や北薩横断道路を考慮したコース見直し、開催日の検討など様々な面から検証し、大会の充実を図ること。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課	記入者名	宗像 完治	内線	395
事務事業名	中小企業振興資金融資事業		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の 位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を活かした多様な産業が躍進するまちづくり					
	施策	商業の振興、工業の振興					
	細施策	経営の近代化・安定化、地域企業の育成・強化					
根拠法令・条例、関連計画等		出水市中小企業振興資金融資要綱					
予算細々目名				会計	款	項	目
計上なし							

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

市内の中小企業者及び組合に中小企業振興資金を融資し、市内の中小企業者等の振興及び経営の安定化を図ることを目的とする。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の 事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ●小口資金 <ul style="list-style-type: none"> ・500万円以内 ・返済5年以内 ・利率2.6% (県制度+0.2) ・申込件数 185件 ●経営安定化資金 <ul style="list-style-type: none"> ・3,000万円以内 ・返済10年以内 ・利率2.6% (県制度+0.2) ・申込件数 290件 	<ul style="list-style-type: none"> ●小口資金 <ul style="list-style-type: none"> ・500万円以内 ・返済5年以内 ・利率2.4% (県制度+0.2) ・申込件数 205件 ●経営安定化資金 <ul style="list-style-type: none"> ・3,000万円以内 ・返済10年以内 ・利率2.4% (県制度+0.2) ・申込件数 331件 	<ul style="list-style-type: none"> ●小口資金 <ul style="list-style-type: none"> ・500万円以内 ・返済5年以内 ・利率2.2% (県制度±0) ・申込件数 200件 ●経営安定化資金 <ul style="list-style-type: none"> ・3,000万円以内 ・返済10年以内 ・利率2.2% (県制度±0) ・申込件数 300件 	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市内で同一事業を引き続き6か月以上経営している中小企業者等	出水市中小企業振興資金を市内金融機関を通じて融資する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
市内企業の経営の安定化による商工業の振興を図る。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 小口資金利用事業者	件	117	150	185	205	200	200		
	② 経営安定資金利用事業者	件	216	249	290	331	300	300		
成果指標	① 廃業件数	件	2	1	2	0	0	0		
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	経済情勢に左右されるので、現状では考えにくい。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	事業者が活用する融資制度の選択肢が一つ減るため、経営不安定化による廃業数の増加が懸念される。
	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
その他	<input type="checkbox"/> ある	台帳管理の電算化は完了しており、これ以上のコスト削減は見込めない。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	鹿児島県融資制度(中小企業振興資金)
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)	
	<input type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	融資自体は金融機関の資金で行うため、市の持ち出しはない。
	他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
その他	鹿児島市、阿久根市、西之表市、南さつま市	

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	利率を県制度同額とする改善を行いたい。

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に改善して継続する。

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に改善して継続する。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課	記入者名	宗像 完治	内線	395
事務事業名	中小企業振興資金等利子補給金		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を活かした多様な産業が躍進するまちづくり					
	施策	商業の振興、工業の振興					
	細施策	経営の近代化・安定化、地域企業の育成・強化					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市中小企業振興対策資金利子補給金交付要綱						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
中小企業振興資金等利子補給金		1	7	1	2	7	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

中小企業の経営安定を図るため、出水市中小企業振興資金を借り入れた者に対し、利子補給金を交付することで、商工業の振興を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ●利子補給率 出水市中小企業振興資金 融資利率－県中小企業制度 資金融資利率＋1％ H27：2.6％-2.4％+1％＝ 1.2％ ●制度利用件数（融資区別 新規受付） 小口資金：185件 経営安定資金：290件 	<ul style="list-style-type: none"> ●利子補給率 出水市中小企業振興資金 融資利率－県中小企業制度 資金融資利率＋1％ H28：2.4％-2.2％+1％＝ 1.2％ ●制度利用件数（融資区別 新規受付） 小口資金：205件 経営安定資金：331件 	<ul style="list-style-type: none"> ●利子補給率 設定利率の1/2以内 （上限1.2％） ●制度利用件数（融資区別 新規受付） 小口資金：200件 経営安定資金：300件 	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市内で同一事業を引き続き6か月以上経営している中小企業者等	出水市中小企業振興資金を借り入れた者に対し、利子補給金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
市内企業の経営の安定化による商工業の振興を図る。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 小口資金利用事業者	件	117	150	185	205	200	200		
	② 経営安定資金利用事業者	件	216	249	290	331	300	300		
成果指標	① 廃業件数	件	2	1	2	0	0	0		
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	経済情勢に左右されるので、現状では考えにくい。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	事業者の経営不安定化による廃業数の増加が懸念される。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	経済情勢によるが、利子補給率が5割を超えないように検討したい。 (県融資利率が更に0.1%下がれば補給率が5割を超える。)
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	現状で補給率が5割以下であるため妥当と考える。
他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）		
鹿児島市、阿久根市、西之表市、南さつま市		

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	出水市中小企業振興資金融資制度の利率を県制度と同額とし、補給率を利率の1/2としたい。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に改善して継続する。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に改善して継続する。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課	記入者名	宗像 完治	内線	395
事務事業名	中小企業振興資金等信用保証料補給金		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を活かした多様な産業が躍進するまちづくり					
	施策	商業の振興、工業の振興					
	細施策	経営の近代化・安定化、地域企業の育成・強化					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市中小企業借入金信用保証料補給金交付要綱						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目	
中小企業振興資金等信用保証料補給金	1	7	1	2	8	1	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

中小企業の経営安定を図るため、出水市または県の中小企業振興資金を借り入れた者の信用保証料を補給することで、商工業の振興を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ●市融資制度 保証料の1/2以内 ●県融資制度 中小企業振興資金 1年以内で保証料の1/6 ●制度利用件数（融資区分別新規受付） 市小口資金：185件 市経営安定資金：290件 県制度：14件 	<ul style="list-style-type: none"> ●市融資制度 保証料の1/2以内 ●県融資制度 中小企業振興資金 1年以内で保証料の1/6 ●制度利用件数（融資区分別新規受付） 小口資金：205件 経営安定資金：331件 県制度：15件 	<ul style="list-style-type: none"> ●市融資制度 保証料の1/2以内 ●県融資制度 中小企業振興資金 1年以内で保証料の1/6 ●制度利用件数（融資区分別新規受付） 小口資金：200件 経営安定資金：300件 県制度：15件 	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市内で同一事業を引き続き6か月以上経営している中小企業者等	出水市中小企業振興資金又は県中小企業振興資金を借り入れた者に対し、保証料の一部を補給する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
市内企業の経営の安定化による商工業の振興を図る。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 小口資金利用事業者	件	117	150	185	205	200	200		
	② 経営安定資金利用事業者	件	216	249	290	331	300	300		
	③ 県制度利用事業者	件	9	18	14	15	15	15		
成果指標	① 廃業件数	件	2	1	2	0	0	0		
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	経済情勢に左右されるので、現状では考えにくい
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	事業者の経営不安定化による廃業数の増加が懸念される。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	現状で補給率を下げると影響が大きい。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか (市以外の取組含む)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか (受益者負担がある場合に記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	現状で補給率が5割以下であるため妥当と考える。
他の市町村では実施している事業ですか (県内の他市の状況等を具体的に記入してください)		
阿久根市、西之表市、南さつま市、奄美市		

3 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本制度は、他市ではあまり実施されていない制度であるが、本市の特徴ある支援策として継続していきたい。

4 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

5 今後の方向性、改善案等 (最終評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	農政課	記入者名	中原 克章	内線	473
事務事業名	黄斑えそ病対策薬剤補助事業		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を生かした多様な産業が躍進するまちづくり					
	施策	農業の振興					
	細施策	農業経営基盤の強化					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市農林業補助金交付要綱・出水市補助金等交付規則						
予算細々目名				会計	款	項目	細目
黄斑えそ病対策薬剤補助事業費（補助金）				1	6	1 3	42

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

葉たばこ・バレイショ農家が黄斑えそ病の原因となるアブラムシの一斉防除を行う際の費用を一部助成することで高品質の葉たばこ・バレイショの生産を目指す。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
一斉防除にかかった薬剤代の1/2を補助する。ただし、480千円を上限とする 散布面積： 143.3 ha 総事業費： 1,771,906 円	H27年度事業の継続 散布面積： 139.2 ha 総事業費： 1,700,000 円	H28年度事業の継続 散布面積： 140 ha 総事業費： 1,700,000 円	H29年度事業の継続 散布面積： 140 ha 総事業費： 1,700,000 円

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
葉たばこ・バレイショ作付農家	葉たばこ及びバレイショ農家の代表者協議により一斉防除の日程調整を実施。 薬剤散布実施状況確認 補助金支払事務
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
高品質の葉たばこ・バレイショの生産を行うことで、安定的な所得向上を目指す。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 薬剤散布面積	ha	128.8	139.3	143.3	139.2	140.0	140.0	—	150.0
	②									
成果指標	① 葉たばこ・パレイショ生産額	千円	411,131	442,391	401,950	440,000	440,000	440,000	—	440,000
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	作付農家に対して、えそ病防除に対する意識の向上を図る。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	葉たばこ、パレイショの品質向上が見込まれず、減収につながり農家経営の安定に寄与しない。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	少ないコストで、成果はあがっている。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業は無し。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	総事業費と補助額の割合からして、市の負担割合（上限）は上げるべきである。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	なし。	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	出水市における耕種農業の代表的作物である、葉たばこと加工パレイショの所得向上の一助を担っているため、今後の農業の展望を考えると市の補助金は拡大しても良いと思われる。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続とする。 ただし、今後においては、鹿児島いずみ農業協同組合の補助金と同額になるよう検討していくこと。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	読書推進課	記入者名	園島 祐一	内線	340
事務事業名	中央図書館駐車場等環境整備事業		事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	生涯学習の推進					
	細施策	読書活動の推進					
根拠法令・条例、関連計画等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（努力義務）						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目	
図書館維持補修費	01	10	06	06	06	001	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

出水中央図書館の駐車場等を整備することにより、来館される市民等の駐車場不足の解消を図る。また、障害者用駐車場を玄関近くに設置することにより、高齢者・障害者等の利便性を高める。
 （中央図書館の既存駐車場枠数：24台分）

3 事務事業の概要

H29年度の事業計画	H30年度の事業計画	H31年度以降の事業計画
駐車場の増設（7台）		

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市民等（図書館利用者）	駐車場の増設
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
駐車場不足の解消、高齢者・障害者等の利便性の確保を行う。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	費用の問題、景観の問題、高齢者・障害者に特化した駐車場の整備、隣接する民有地の賃貸などを考慮しながら事業内容等を再検討すること。

事務事業評価（事前評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	31年度目標	最終目標	
								年度	目標値
活動指標	① 駐車場等の整備				1			29	1
	②								
成果指標	① アンケート等による満足度				90%			29	90
	②								

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 事務事業の目的

いつまでに実施しなければならないのですか	
緊急性	理由 平成 29 年度まで 駐車場不足については、これまでも、図書館の意見箱、市政モニター通信等で要望のある事項である。既存の敷地内での駐車場増設には限りがあるが、障害者・高齢者等の優先駐車場を含め、玄関に最も近い場所に設置することにより、利用者の利便性が図られる。
意図は妥当ですか（「4 事務事業の対象・手段・意図」欄の意図について）	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> はい 理由 利用者（市民等）の利便性の向上につながるため、妥当である。
	<input type="checkbox"/> いいえ
既存事業の拡大では対応できないですか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> はい 理由 既存駐車場の不足の解消である。
	<input type="checkbox"/> いいえ
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
その他	<input type="checkbox"/> はい 理由 本事業には該当しない。
	<input type="checkbox"/> いいえ
他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
公共施設利用者に対する駐車場の確保は他の施設でも行われている。	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	駐車場不足の解消、障害者等用駐車場の再配置により利便性が改善されるため実施する。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	本計画では駐車場7台のみの増設であり、駐車場不足の解消にまで効果があるか疑問である。混雑時の駐車場不足台数を調査し、障害者駐車場の設置台数や既存駐車場の整備、今後の図書館機能のあり方など総合的に再検討した上で、事業内容を見直すこと。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	二次評価と同様に事業内容等を再検討すること。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	消防本部	課等名	消防総務課	記入者名	野端 茂雄	内線	119
事務事業名	救急救命士養成事業		事業期間	平成 23 年度 ～ 平成 32 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	安全・安心で快適な都市基盤が整った人と自然を大切にするまちづくり					
	施策	消防・救急体制の充実					
	細施策	救急救助体制の充実					
根拠法令・条例、関連計画等	救急救命士養成計画（平成21年10月19日 政策審議会）						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目	
消防総務業務費（救急救命士研修経費）	01	09	01	01	003	01	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

救急業務において、重篤な患者の救命率を高めるためには、高度で専門的な知識や技術を持つ救急救命士の養成が必要不可欠であることから、救急救命士養成計画を策定し、平成23年度から平成32年度までに10人の救急救命士を養成する（救急救命士の資格を有する新規採用者がいた場合は、計画の人数に含むものとする。）。

なお、救急救命士の資格を得るには、救急振興財団が運営する救急救命士東京研修所・北九州研修所で専門的な研修を受け、国家試験に合格しなければならない。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
○救急救命士1人の養成 4/3～9/30（7ヵ月間） 救急救命九州研修所 負担金：2,051千円 旅費：417千円 3月国家試験合格	○救急救命士1人の養成 9/2～3/13（7ヵ月間） 救急救命九州研修所 負担金：2,071千円 旅費：399千円 3月国家試験受験予定	-	-
○救急救命士資格者2人の新規採用	○救急救命士資格者2人の新規採用		

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
消防職員	事前に学習している職員から候補者を選考し、救急救命九州研修所にて実施される7ヶ月にわたる救急救命士養成課程に派遣し、救急救命士に必要な知識及び技術を習得させ、国家試験に合格することにより、資格を取得させる。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
医師の指示のもと、気管挿管、薬剤投与等の医療行為を行うことができる救急救命士を養成することにより、重篤な患者の救命率を向上させる。 （平成23年度から平成32年度までに救急救命士を10人養成する。）	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 救急救命士養成数 (うち有資格者の新規採用数)	人	1 (0)	2 (1)	3 (2)	3 (2)				
	② 救急救命士資格者数	人	19	21	24	27	28		32	27
成果指標	① 救急救命処置件数	件	54	46	73	80	90	100		
	②									

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	救急救命士の資格を有する職員を増やすことにより成果指標の向上が図れる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input type="checkbox"/> ある	理由	
<input checked="" type="checkbox"/> ない	少なくとも、有資格者が早期退職しない限り影響は少ない。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	研修経費については削減の余地はないが、救急救命士資格者を計画的に採用することにより本事業を廃止することによってコスト削減が可能である。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	無し。
市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
	全国の消防本部(局)で実施。	

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	救急救命士養成計画により平成23年度から各年1人づつ養成している。その間、救急救命士の有資格者が5人新規採用され、平成28年度の養成で当初計画していた10人を超え、この計画の目的は達成したことから廃止とする。 今後は、救急救命士の有資格者の採用計画等により維持していくこととする。

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に廃止とする。

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	救急救命士養成計画の目的を達成したことから当面の間は休止とする。 なお、救急救命士資格者の年齢構成等を基に中期計画を策定するなど消防本部と人事担当部署において今後の対応を検討すること。